

東大野球部

New!

メルマガ

Vol.84

いよいよ

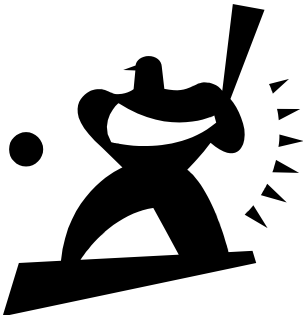
日毎に寒気加わる時節となりましたが、皆様
いかがお過ごしでしょうか。

東大野球部では新体制が本格的に始動いたしました。24日に行われた明治学院大戦で今年のオープン戦は全て終了し、今後はリーグ戦・オープン戦で見つかった課題を克服できるよう、選手各々が練習に励んで参ります。

今後とも温かいご声援をどうぞよろしくお願い致します！

新体制特集！

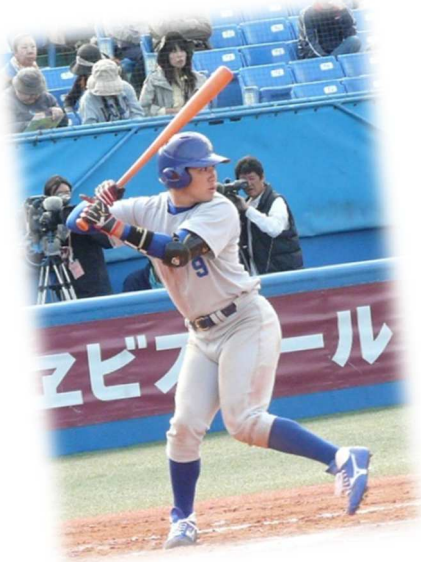
今年度主将に就任した有井外野手、同じく主務に就任した藪マネージャーに新体制にかける思い、そして今後の意気込みを聞きました。



有井 祐人（3年・主将・外野手・新田青雲）

新チームの主将を務めさせていただき、有井祐人と申します。東大野球部を応援して頂いている皆様、暖かいご声援をありがとうございます。皆様のご期待に添えられるよう精進して参りますので、今後とも東大野球部をよろしくお祈り致します。

さて、新体制が始まるにあたり、課題を明確にし、練習内容だけでなく、部員同士を始めとする人との関わり方から変えていこうと考えています。部全体が勝ちへ進んでいくことを改めて考え直し、日々練習に励んでおります。また、今年のチームにはリーグ戦経験者が多く残っており、1つ上のレベルでのチーム作りを目指しております。個々のスキルとチーム全体の一体感を引き上げ、真の「強さ」を身につけて、必ずや春には勝利をつかみ取りに行きますので、ご声援の程、よろしくお祈り致します。



藪 博貴（3年・主務・西大和学園）

メルマガをご覧の皆様、ご無沙汰しております。今年度東京大学運動会硬式野球部の主務を務めさせていただきます。藪博貴です。メルマガには、1年の冬の男マネ特集以来なので、約2年ぶりです。この前出たときは最下級生だったのに、今や最上級生です。時の流れは速いものですね…。

さて、新チームは11月13日から始動しました。マネージャーも1年の中川が新チームからマネージャーに転向し、計8名で日々の仕事に取り組みチームを支えています。自分たちは試合で実際にプレーするわけではないので、勝利に直接貢献するということはできません。しかし、選手がリーグ戦で自分の実力を存分に発揮できるように環境を作っていくことで、少しでもチームの力になればと思っております。

今後とも東京大学野球部を宜しくお願いします。



黒岩助監督特集！

今秋をもって退任される黒岩助監督に現在の心境を伺うと同時に、選手たちに一緒に過ごした日々を振り返ってもらいました。

黒岩 耕平（助監督・平成21年卒・須坂高）

メルマガをご覧の皆様、こんにちは。とうとう東大野球部への関わりも一段落です。野球部に入部してから、どうやったらチームが勝てるのかを考えて過激してきました。そして外野守備・走塁などを指導してきました。

現役部員には、個人は下手でもいいからそれぞれがチームのことを考えられるチームを目指してほしいと考えています。そして最終カードの立教戦のような雰囲気、試合運びを期待しています。

最後に、応援してくださった方々には感謝申し上げます。



黒岩耕平 プロフィール

長野県出身。長野県須坂高校を卒業後東京大学に入学。現役時代、外野手としてプレーしリーグ戦通算23試合に出場。3年秋からは学生コーチに専念し主に外野守備・走塁を担当した。卒部後平成21年の2シーズン、24年秋から25年秋の3シーズンと、二度にわたって助監督を務めた。



（左）リーグ戦では3塁コーチを務めていた（中）高いノック技術で守備力向上に貢献（右）選手時代の黒岩助監督

芦田 拓人（3年・学生コーチ・私立武蔵）

自分が学生コーチになった1年前から今日までの成長は、黒岩さん無くしては語れません。3塁コーチの所作やノックの打ち方（ノック技術は間違いなく六大一でした！）というグラウンドでの指導はもちろんのこと、時にはビール片手に夜遅くまで自分の話を聞いてくださることもありました。練習中叱咤の言葉を並べられたかと思えば、練習後自分達の学年部屋で軽快なギャグを飛ばす、そんな黒岩さんのギャップが皆大好きでした。黒岩さん、ありがとうございました。

中杉 康仁（3年・副将・内野手・筑波大駒場）

黒岩助監督との出会いは助監督に就任されるより前、僕たちが1年生の頃で、当時は恐怖の象徴のような存在でした。朝の準備で先輩たちのいないグラウンドに普段は眠そうに入ってくる部員も、「スタンドに黒岩さん来てるぞ」という一声で、急にかしこまってきびきび動くようになりました。そして次第に自分たちのために熱心に取り組んでくださる黒岩さんに部員も指導を仰ぐ機会が多くなり、年齢が近いこともあって、今ではみんなに愛される存在です。そんな黒岩さんの退任前に勝利をあげられなかったのは非常に申し訳ないことではありますが、3年間ご指導頂いた自分たちの代こそ神宮で勝利し、恩返しがしたいと思っております。黒岩さん、今までありがとうございました。来年のシーズン楽しみにしていただきます。

袖野 康弘（2年・捕手・学芸大附属）

黒岩助監督には入部当初から打撃・守備・走塁全ての面で六大学のレベルの野球を教えて頂きました。また、上手いかわりに悩んでいるときも親身に相談に乗っていただきました。

黒岩助監督が監督代行として指揮をとった秋季新人戦で何としても勝利を収めたかったのですが、負けてしまい本当に申し訳なかったです。来季リーグ戦で勝利し必ず恩返しをします。黒岩助監督、本当にありがとうございました。



(上)選手に打撃について話している様子

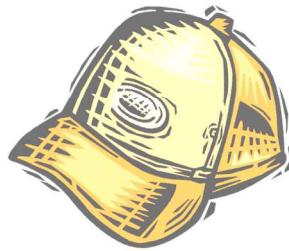
(右)袖野捕手にバントの指導をしている様子

編集後記

今回の特集はいかがでしたか。

新体制が始まり、部員それぞれが新しい役割、新たな決意のもと日々過ごしております。同時に黒岩助監督や引退された4年生が教えてくれた様々なことを活かし、来春こそは勝利で皆様のご声援にお応えします。チーム一丸となつてこの冬、実力をつけてまいります。

今後とも東京大学野球部をよろしくお願い致します！



お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向丘1-5-9 一誠寮

TEL&FAX 03(3811)5100

メールアドレス office@tokyo-bce.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望がございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

